

## ポンプ用“輸血”セットとポンプ用“輸液”セットの包装酷似性とその取り違いインシデント



**取り間違いにご注意ください**

輸液セットは輸血に使用できません

ポンプ用輸液セット      ポンプ用輸血セット



**必ずパッケージを確認頂くようご協力下さい。**

輸液セットを輸血に使用すると詰まってしまい、使用できません。

注意喚起として、引き出しの“部分”に「輸血には使用しないこと」と書いたシールを貼っています。



大阪大学医学部附属病院 輸血部

中山小太郎純友   細川 美香   櫻木美基子   森川 珠世   中尾まゆみ  
清川 知子   青地 寛   永峰 啓丞   富山 佳昭

大阪大学医学部附属病院輸血部

キーワード：輸血，輸血セット，インシデント

当院では、小児症例や術後の輸液管理時に用いるポンプ用輸血セットとして「テルフュージョンポンプ用輸血セット (DEHP フリー)」(テルモ社製)を、ポンプ用輸液セットとして「テルフュージョンポンプ用輸液セット (PVC フリー/DEHP フリー)」を採用している。図に示すように両セットは、外装デザイン・色調が酷似しており、取り違えの原因となる可能性がある。

当院にて、ポンプ用“輸液”セットを用いて輸血を実施したインシデントが、2015年8月～2015年11月の4カ月間で3件発生した。輸血セットには、フィブリン塊や凝集塊 (macro/micro aggregate) を除去する濾過フィルター (開口径: 175～210 $\mu$ m) が接続されているが、輸液セットの異物除去フィルターは更に微細で (開口径: 40 $\mu$ m)、血球が通過し難く、ルート閉塞ならびに加圧による溶血の原因となり得る。

輸血セットの取り違えは輸血実施担当者の不注意、

確認不足が原因であるが、両セットの酷似性を考慮し、輸血療法委員会を通じて各病棟、各診療科に注意喚起すると共に、テルモ社に外装・外観変更の申し入れを行った。外観変更が実施されるまでの応急的対策として、病棟における両セットの設置箇所を可能な限り分離したうえ、明確な表示を行い、当該インシデントの再発防止に努めている (図)。

著者の COI 開示: 本論文発表内容に関連して特に申告なし

## 文 献

- 1) テルフュージョンポンプ用輸血セット (DEHP フリー) 添付文書
- 2) テルフュージョンポンプ用輸液セット (PVC フリー) 添付文書
- 3) テルフュージョンポンプ用輸液セット (DEHP フリー) 添付文書

## SIMILAR PACKAGING BETWEEN BLOOD TRANSFUSION AND INFUSION SETS AND ENSUING MIX-UP INCIDENTS

*Kotarosumitomo Nakayama, Mika Hosokawa, Mikiko Sakuragi, Tamayo Morikawa, Mayumi Nakao, Tomoko Kiyokawa, Hiroshi Aochi, Keisuke Nagamine and Yoshiaki Tomiyama*

Department of Blood Transfusion, Osaka University Hospital

### Keywords:

Blood Transfusion, Blood Transfusion Set, Incident